※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　インテリア科

教科	工業	科目	インテリア計画	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア科では、快適な生活を送るために必要な家具等の制作を通して、インテリアのデザインや木工、木材やその他の素材を生かしたデザインや加工を学習します。この授業では、色の持つ様々な働きや、生活空間と色彩の関係、快適な生活空間に必要な木工器具について学習します。実際に木工器具など制作を行い、木材等の基礎的・基本的な加工方法や、安全に配慮した道具の使い方、デザインや設計に沿って加工する技術を身に付けます。
刃物や木工機械を使用します。安全に配慮し、担当の先生の指示をよく聞いて作業を進めるようにしてください。

2　学習の到達目標

インテリア科の科目「インテリア実習」や「デザイン技術」、「インテリア製図」等と関連させ、生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴と利用される空間の関係等を学習します。実際に木工器具の制作を行い、快適な生活空間を演出する木工器具について深く学習します。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関心をもち、木工器具等の制作に向けて意欲的に取り組み、技術を活用しようとする態度を身に付けている。	生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、技術を活用している。	インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、独自のデザインを表現することができる。
評価方法	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価	作業状況の観察 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	木工器具	色の持つ様々な働き 生活空間と色彩の関係 木工器具のデザイン 木工器具の制作	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	ａ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。 ｂ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する課題解決をめざして考えを深めている。 ｃ：生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的･基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮している。 ｄ：インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的･基本的な知識を身に付けようとしている。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価等
2	木工器具	木工器具の役割 木工器具のデザイン 木工器具の制作	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○		ａ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関心をもち、木工器具等の制作に向けて意欲的に取り組んでいる。 ｂ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する課題解決をめざして考えを深めている。 ｃ：生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的･基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮している。 ｄ：インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、独自のデザインを表現することができる。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価等

※令和３年度以前入学生用

3	木工器具	木工器具の制作 プレゼンテーション	○ ○	○	○ ○	 ○	ａ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関心をもち、木工器具等の制作に向けて意欲的に取り組み、技術を活用しようとする態度を身に付けている。 ｂ：生活空間と色の関わりや文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 ｃ：インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、技術を適切に活用している。 ｄ：インテリアのデザインや、生活空間と色の関わり、文化的な特徴、木工器具の特徴等に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、独自のデザインを表現することができる。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。